

朝鮮通信使訪日400周年記念「朝鮮通信使の道」展報告



■組織

[主催] 日本建築学会建築博物館
日本イコモス国内委員会
韓国建築歴史学会

[後援] 大韓民国大使館
「朝鮮通信使」交流議員の会、
朝鮮通信使縁地連絡協議会

[協力] GSデザイン会議

■期間 2007年12月20日(木)―2008年1月20日(日)

■場所 建築会館建築博物館展示ギャラリー

■企画の背景

2007年は朝鮮通信使訪日400周年であり、日韓各地でさまざまにイベントが行れた。朝鮮通信使は、徳川将軍の交替にともない、朝鮮王室から慶賀のための外交使節として江戸に派遣された外交団で、鎖国の時代といわれた江戸時代に東アジア諸国の中で豊かな国際関係が築かれていた事実を物語る。500人前後の朝鮮外交団に加えて、嚮導役の対馬藩士、各藩の随行員など、都合1500人が海路と街道を約10ヶ月をかけて動くことから、通信使の往来は華やかなページェントを散りばめた国際イベントとなり、多大の施設やインフラの整備を伴うことになった。そうした建築物や土木構築物の中には今日まで継続されているものも少なくなく、全体で「朝鮮通信使遺産」とでも呼べるような遺産の系をかたちづくっている。本展覧会は、その形成プロセスと利用のされ方、その後の継承の仕組み等について、個々の事例を紹介し、全体として「朝鮮通信使の道」という見方から再評価を行った。また、朝鮮通信使の文化遺産である鞆の浦の重要性を再確認し、埋立・架橋による景観問題を浮き彫りにした。

■展示の内容

- ・朝鮮通信使に関わる古地図、絵図、指図、写真
- ・朝鮮通信使遺産の復元図、模型、倭館の復元図、模型

■シンポジウム

日韓の専門家を招き、「朝鮮通信使の道」に関する国際シンポジウムを実施

(建築会館ホールにて1月12日)

開会の辞:

三宅理一(慶應義塾大学教授、日本建築学会理事)

挨拶:

原田令嗣(文部科学政務官、「朝鮮通信使」交流議員の会事務局長)

基調講演:前野まさる(日本イコモス国内委員会委員長)

セッション1ー朝鮮通信使を振り返る

韓泰文(釜山大学校教授)

東原和郎(瀬戸内市助役)

遠藤靖夫(朝鮮通信使日韓友情ウォーク本部隊事務局長)

毛利和雄(NHK解説委員) 司会

セッション2ー朝鮮通信使と歴史遺産

金晶東(牧園大学校教授)

夫学柱(慶應義塾大学講師)

三宅理一(慶應義塾大学教授)

渡辺洋子(芝浦工業大学教授) 司会

総括 矢野和之(日本イコモス国内委員会)